

令和6年2月20日



奈良市総合政策部総合政策課（担当：田中・高橋）

電話：0742-34-4786（内線：2210）

UR都市機構西日本支社 総務部総務課（担当：高木）

電話：06-4799-1231

## 奈良市と独立行政法人都市再生機構が包括連携協定を締結しました

奈良市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、相互に連携することで、両者が目指すまちづくりの取り組みを一層加速させるため、「奈良市と独立行政法人都市再生機構との地域活性化包括連携協定」を本日付で締結しました。

今後、既存ストックの活用や郊外ニュータウンの活性化、奈良市内への移住・定住促進に向けた取り組みなど、様々な分野で連携および協力し、地域の活性化や市民サービスの向上に取り組んでまいります。



左：村上支社長 右：仲川市長

1. 協定の名称

「奈良市と独立行政法人都市再生機構との地域活性化包括連携協定」

2. 協定締結日

令和6年2月20日

3. 協定の目的

様々なまちづくりの知見を有するUR都市機構と奈良市が相互に連携することで、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、地域の活性化および持続的成長に向けたまちづくりの取り組みを推進していくことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

4. 連携及び協力事項等

- (1) 既存ストックの活用と新たな土地利用の検討に係るまちづくりに関すること
- (2) 奈良市内への移住・定住促進に向けた取り組みに関すること
- (3) 郊外ニュータウンの活性化等に寄与するまちづくりに関すること
- (4) その他本協定の趣旨を実現するために必要なこと

5. 協定締結の背景

UR都市機構は、賃貸住宅の管理・運営・建替え、都市再生・エリアマネジメント等のまちづくり支援事業、災害復興事業など、様々なまちづくりの知見を有しています。今回の包括連携協定の締結は、奈良市内における働く場所の創出につながるまちづくり、市内への若者・子育て世帯の移住・定住促進につながる魅力あるまちづくり、郊外ニュータウンの活性化につながるまちづくり、子育て世代や若者世代、高齢者世代を含むミクストコミュニティを推進するまちづくり等に、奈良市とUR都市機構が連携して取り組むことを目的としています。

【参考】奈良市内のUR賃貸住宅 計15団地（10,175戸）

# 奈良市・UR都市機構 による包括連携協定



令和6年2月20日 (火)





# 奈良市におけるUR都市機構の関係性

## 郊外ニュータウン

富雄

奈良阪

平城

奈良青山

平城相乗ニュータウン



## UR賃貸住宅

15団地：10, 175戸

平城第二 (1,529) ・平城第一 (503) ・桂木 (570) ・富雄 (1,672)  
中登美第三 (2,520) ・平城右京 (366) ・平城左京 (490)  
高の原駅前 (338) ・奈良青山 (300) ・奈良青山一丁目 (206)  
**計10団地 (8,494戸)**

**建替実施済**：奈良紀寺 (252) ・奈良・学園前 (226) ・奈良学園前・鶴舞 (922)  
**計3団地 (1,400戸)**

**市街地住宅**：西大寺駅前 (205) ・西大寺駅前第二 (76) **計2団地 (281戸)**





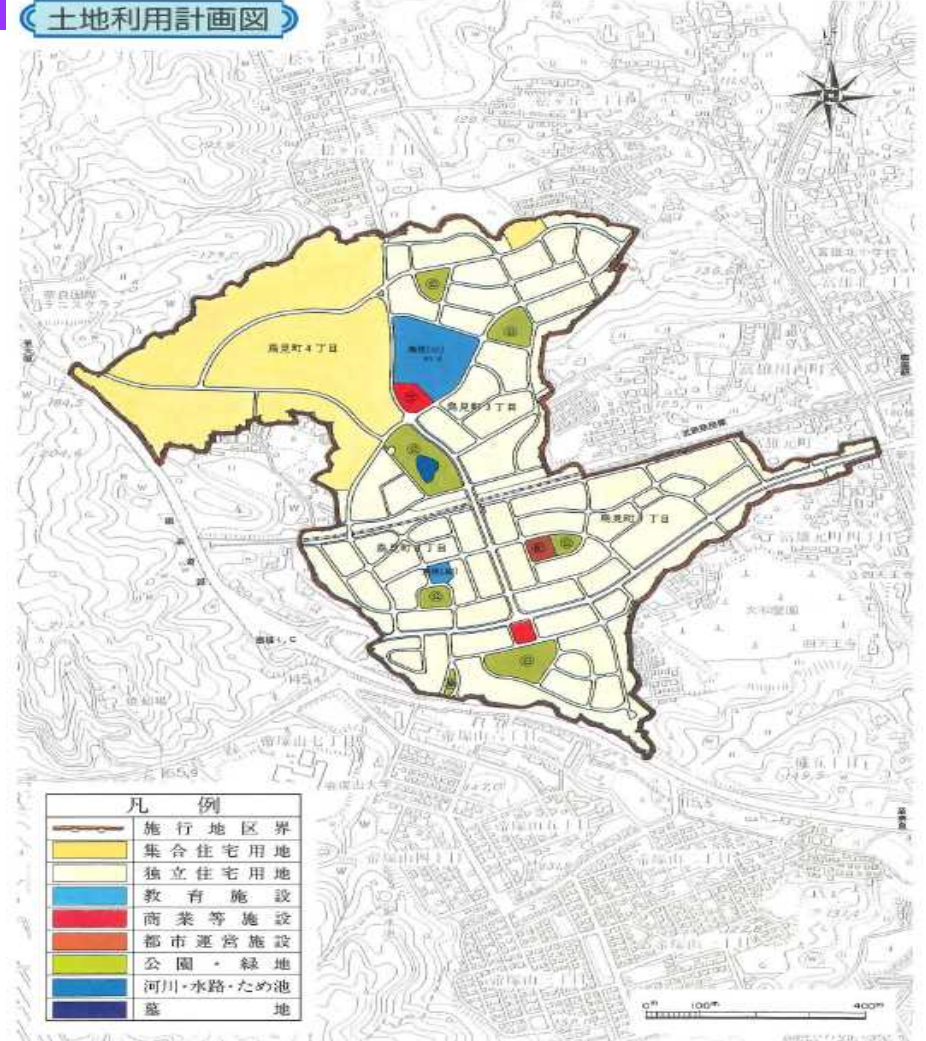
# 奈良市におけるUR都市機構の関係性

## 郊外ニュータウン

### 富雄

奈良県下でURが最初の宅地開発地として選定。当時、隣接する阪奈道路が開通し利便性が向上したこと、近鉄奈良線・学園前を中心とした市街化に合わせて上下水道計画が確立され、本地区への供給見通しがついたこと、何より市が開発に協力的で支援体制が確立されていたことが選定理由とされる。地形的条件としては、東西方面に約90mの高低差あり、阪奈道路が隣接。

土地利用計画図





# 奈良市におけるUR都市機構の関係性

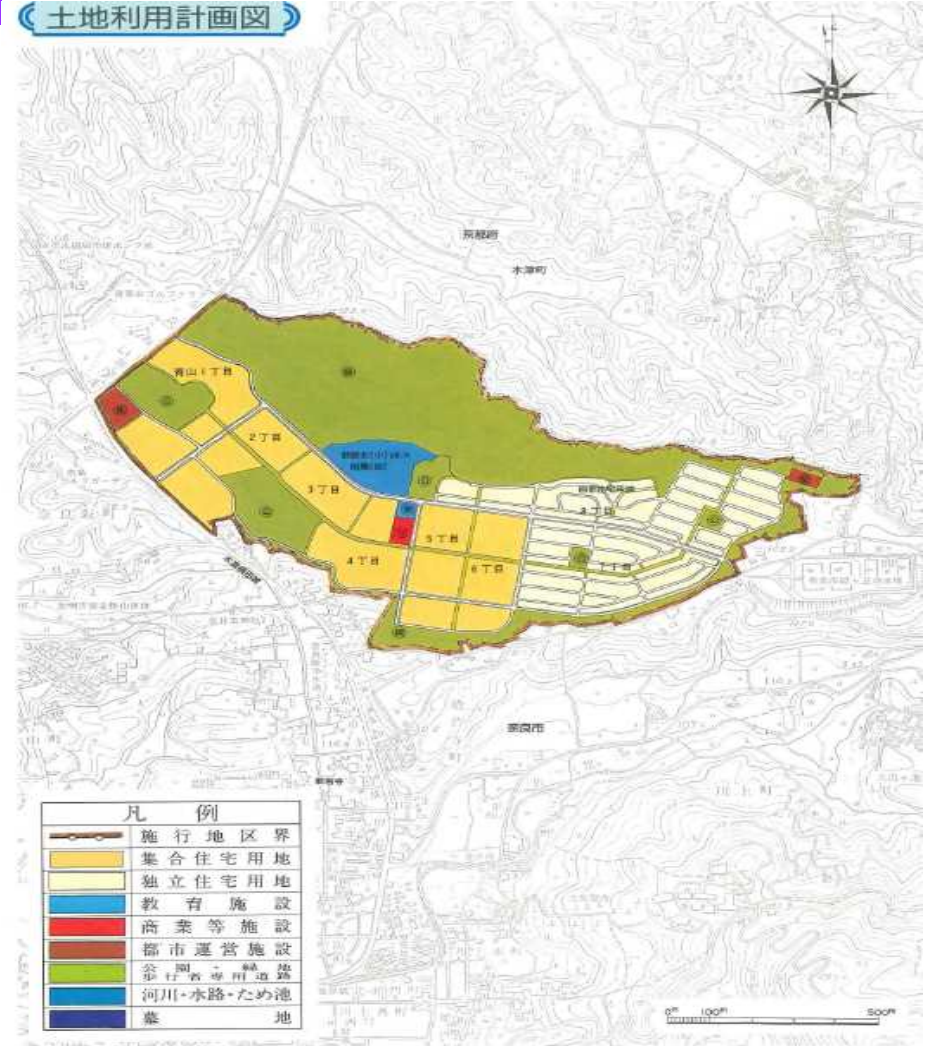
## 郊外ニュータウン

### 奈良阪

### 奈良青山

本地区は、奈良市施工として、開発許可の手法による一般宅地開発事業として開発された地区。立地条件の良さと周辺の自然環境などの良さから、良好な住宅地開発も可能と判断され、地域住民のための素晴らしいコミュニティづくりを図ることを目的として開発が決定。地形および自然環境を考慮し、府県境の保有林を生かした保存緑地と、地区周辺に外周緑地を配することによって緑の中の閑静な住宅街を形成、古都奈良にふさわしい、落ち着いた街なみを形成。

土地利用計画図





# 奈良市におけるUR都市機構の関係性

## 郊外ニュータウン

### 平 城

#### 平城相楽ニュータウン

昭和30年に答申された奈良県新総合開発計画によって住宅地としての位置づけがなされ、URとしては国の政策の下、国、奈良県、奈良市並びに近畿日本鉄道(株)・京阪電鉄(株)の協力の下、開発がスタート。令和4年度には、まちびらき50周年を迎え、成熟した閑静かつ利便性の高いニュータウンとして、古都奈良を中心としたベッドタウンとなっている。





# 奈良市が掲げるまちづくり



2031年のまちの姿

「わたし」からはじめる 「わたしたち」のまち 奈良

まちの方向性 I

誰もが子育てに関わり  
多様な生き方を認めあうまち

重点分野1  
未来を育てる  
(子育て支援)

## 第1章 ひとづくり 〔子育て、教育、人権、男女共同〕

- 母子保健の推進と子育て家庭への支援の充実**
  - ①切れ目のない相談・支援体制の推進
  - ②妊産婦・乳幼児保健の充実
  - ③様々な状況にある子育て家庭への支援の充実
- 子育て環境の充実**
  - ①子どもの心豊かな育ちの支援
  - ②子どもの健全育成の推進
  - ③子育てにやさしい地域づくりの推進
- 学校教育の充実**
  - ①学力の向上
  - ②奈良らしい教育の推進
  - ③学習環境の充実
- 教育支援体制の充実**
  - ①児童・生徒の支援体制の強化
  - ②地域と学校の協働による取組の推進
  - ③教職員への支援体制の充実
- 人権と平和の尊重**
  - ①人権啓発活動の推進
  - ②人権教育の推進
- 男女共同参画社会の実現**
  - ①男女共同参画の推進
  - ②女性活躍の推進



まちの方向性 II

地域の特性をいかした様々な  
働き方にチャレンジできるまち

重点分野2  
活気を生み出す  
(経済活性化)

## 第2章 しごとづくり 〔観光、産業・労働〕

- 観光・交流の促進**
  - ①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進
  - ②都市間・地域間交流の活性化
  - ③地域の資源を生かしたにぎわいの創出
- 商工・サービス業の活性化**
  - ①商工業の充実と支援
  - ②起業家の育成
  - ③企業誘致の強化
- 農林業の振興**
  - ①農業・農村地域の活性化
  - ②森林環境の保全
- 雇用・労働環境の充実**
  - ①多様な働き方の実現
  - ②ワーク・ライフ・バランスの取れた労働環境への支援



まちの方向性 III

誰かのやりたいことが  
他の誰かのやってほしいことになる  
機会をみんなでつくり出せるまち

重点分野3  
生活をつなぐ  
(健康長寿)

## 第3章 暮らしづくり 〔福祉、健康、地域活動、いきがい、文化〕

- 地域福祉と総合的な生活保障の推進**
  - ①総合的な相談支援体制の整備
  - ②セーフティネットの安定的運営
  - ③子ども・若者育成支援の推進
- 障害者福祉の充実**
  - ①障害者・児への支援の充実 ②合理的配慮の普及・啓発
- 高齢者福祉の充実**
  - ①地域包括ケアシステムの構築
  - ②将来も安心できる福祉サービスの継続
- 医療体制の充実と健康の増進**
  - ①地域医療体制の充実
  - ②データを活用した保健事業の推進
  - ③生きることの包括的支援
  - ④健康危機管理体制の整備
- 地域コミュニティと市民活動の活性化**
  - ①地域活動の推進
  - ②ボランティア・NPO活動の活性化
- 文化・スポーツの振興**
  - ①市民文化と都市文化の振興
  - ②スポーツ活動の推進とスポーツ産業の振興
- 社会教育の推進**
  - ①公民館の活用 ②図書館の充実
- 文化遺産の保存と活用**
  - ①文化財の保存 ②文化財の活用と啓発



まちの方向性 IV

命と生活を守るために  
自分たちで考え行動できるまち

重点分野4  
安全を守る  
(防災・減災)

## 第4章 まちづくり 〔安全・安心、環境・衛生、都市基盤〕

- 防災対策の充実**
  - ①防災・減災に対する体制の強化
  - ②防災・減災に対する意識の向上
- 消防・救急救助体制の充実**
  - ①消防活動体制の強化
  - ②救急救助体制の充実
- 防災対策と消費者保護の推進**
  - ①防災力の向上 ②消費者への支援の推進
- 環境の保全**
  - ①環境保全による地域課題の解決
  - ②ごみ減量化と適正処理の推進
- 生活衛生・環境衛生の向上**
  - ①環境美化の推進 ②生活環境と衛生水準の維持・向上
  - ③動物愛護の推進
- 土地・景観の整備**
  - ①計画的な土地利用の推進 ②奈良にふさわしい景観の保全・創出及び歴史的風致の維持・向上
- 交通基盤の整備と交通安全の確保**
  - ①交通体系の構築 ②道路整備の推進
  - ③交通安全対策の推進
- 住環境の向上**
  - ①良好な住環境の形成 ②公園・緑地の整備
- 利水・治水対策の推進**
  - ①水道水の安定供給 ②下水環境の向上
  - ③河川・水路の整備



基本姿勢

互いのつながりを大切にし 今と未来をともに作り出せるまち

## 第5章 しくみづくり 〔協働、行財政運営〕

- 市民参画と開かれた市政の推進**
  - ①市政への市民参画の推進 ②協働によるまちづくりの推進
  - ③市政情報の積極的な発信と戦略的な広報の推進

- 行財政改革の推進**
  - ①健全な財政基盤の構築 ②行財政運営の効率化
  - ③人材育成と組織力の向上 ④先端技術を利用した行政サービスの向上







## UR都市機構が掲げるまちづくり

# 過去から未来に「継承する」まちづくり

### 団地再生

- 事業により創出した敷地活用等
- 新たな土地利用による新たな産業用地等への敷地利用検討と、それに伴う雇用創出



### 賃貸住宅

- 多様な世代が安心して住み続けられる環境整備
- 持続可能で活力ある地域・まちづくりの推進
- 賃貸住宅ストックの価値向上



市内15団地、約1万戸

### 災害復興

- 災害からの復旧支援
- 発災時の円滑な活動に向けた対応



宮城県女川町





## 連携の目的



奈良市  
Old History,  
New Discovery.



UR都市機構

互いの「ストック・ノウハウ」を相互活用  
都市・まちづくりの取組みをより一層加速





## 連携項目

1. 既存ストックの活用と新たな土地利用の検討に係るまちづくりに関すること
2. 奈良市内への移住・定住促進に向けた取組に関すること
3. 郊外ニュータウンの活性化等に寄与するまちづくりに関すること
4. その他本協定の趣旨を実現するために必要なこと



奈良市



街に、ルネッサンス

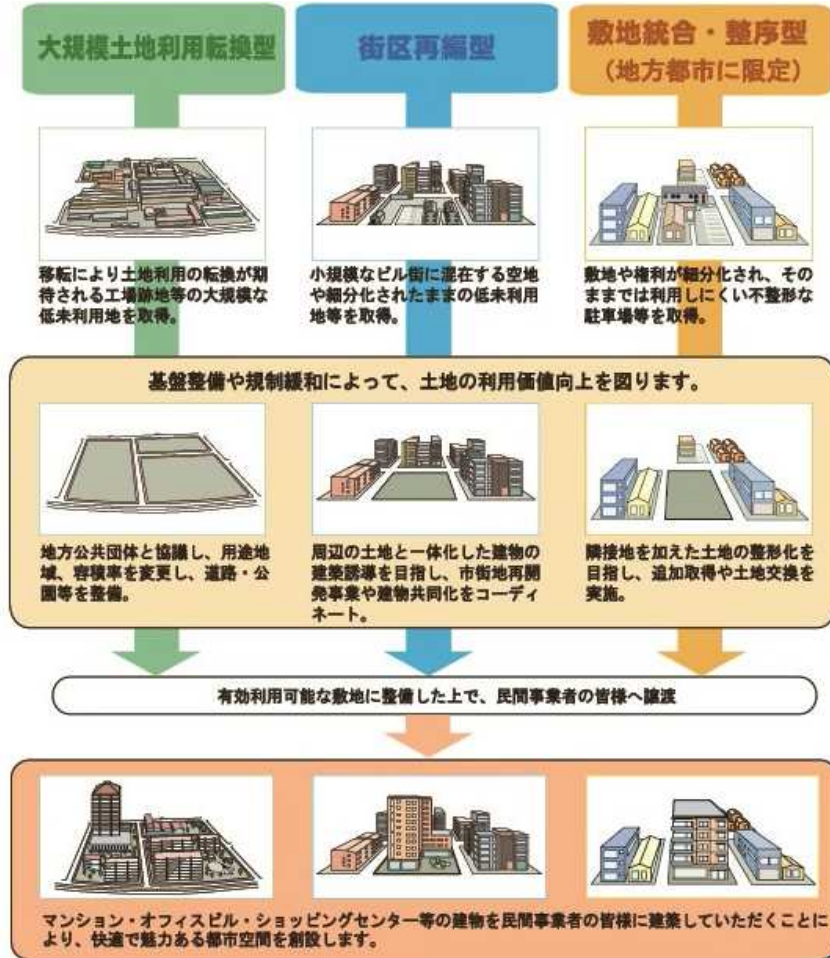


UR都市機構





# 1. 既存ストックの活用と新たな土地利用の検討に係るまちづくりに関すること



「働く場所」や「地域の交流拠点」の創出につながる新たな土地活用の推進

市営住宅団地等の建替や公有地活用に伴うまちづくりの促進

郊外団地の魅力向上につながる取り組みの促進





## 2.奈良市内への移住・定住促進に向けた取り組みに関すること



企業・大学等と連携した  
若年層の移住・定住の促進

大学生・留学生への住まいの  
提供促進

移住ポータルサイト

ならりずむ。



様々な住み替え循環を生み出す  
ための取組の推進





### 3. 郊外ニュータウンの活性化等に寄与するまちづくりに関すること

地域毎に合った活性化策を市と協働し検討





×



UR都市機構

奈良市とUR都市機構による更なる連携により、

奈良市内で働く場所の創出、移住定住に向けた取り組み、郊外ニュータウンの活性化をはじめ、奈良市に住まう人々のより良い暮らしの実現に向けたまちづくりに取り組んでいきます。





# Old History, New Discovery.

NARA CITY

